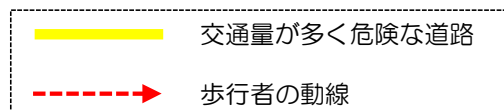


歩行者デッキの整備効果は「安全性」

なお、これまでに歩行者デッキ（歩道橋）を国道423号側道までとすることをご意見をいただいたことがありますが、危険な道路を通る人が今よりも増えてしまうため、このような整備はあり得ません。

▶ 歩行者デッキがR 4 2 3側道までの場合

凡 例



危険な道路を
通行する人が増える

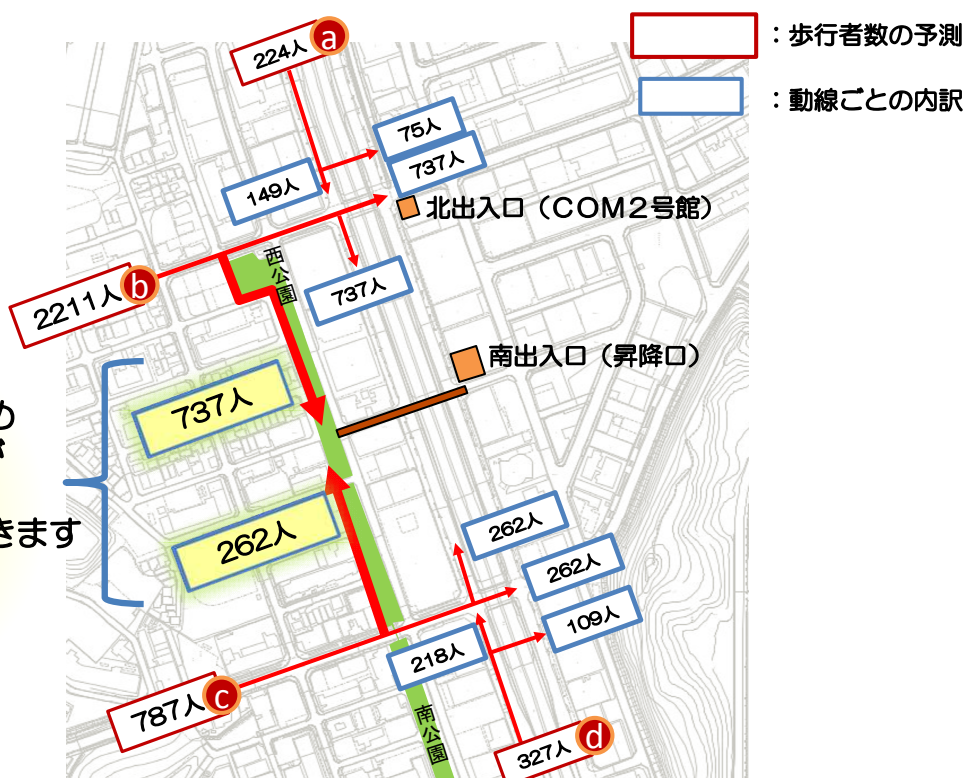


「1,000人×毎日×往復」の安全性を確保

西側の住宅街から駅を利用する歩行者数の予測は約3,500人/日です。【図中 a ~ d の合計】
北橋や南橋を通る方もおられますが、歩行者デッキ（歩道橋）を新船場西公園まで接続することによって、危険な場所を通らずに駅へアクセスできる方が高齢者や子どもも含めて約1,000人/日いらっしゃいます。

往復利用では、1日2,000回の危険が回避できることになります。

高齢者や子どもも含め
約1,000人/日の方が
歩行者デッキ利用で
安全な歩行を確保できます



類似規模の実例（中之島歩道橋）



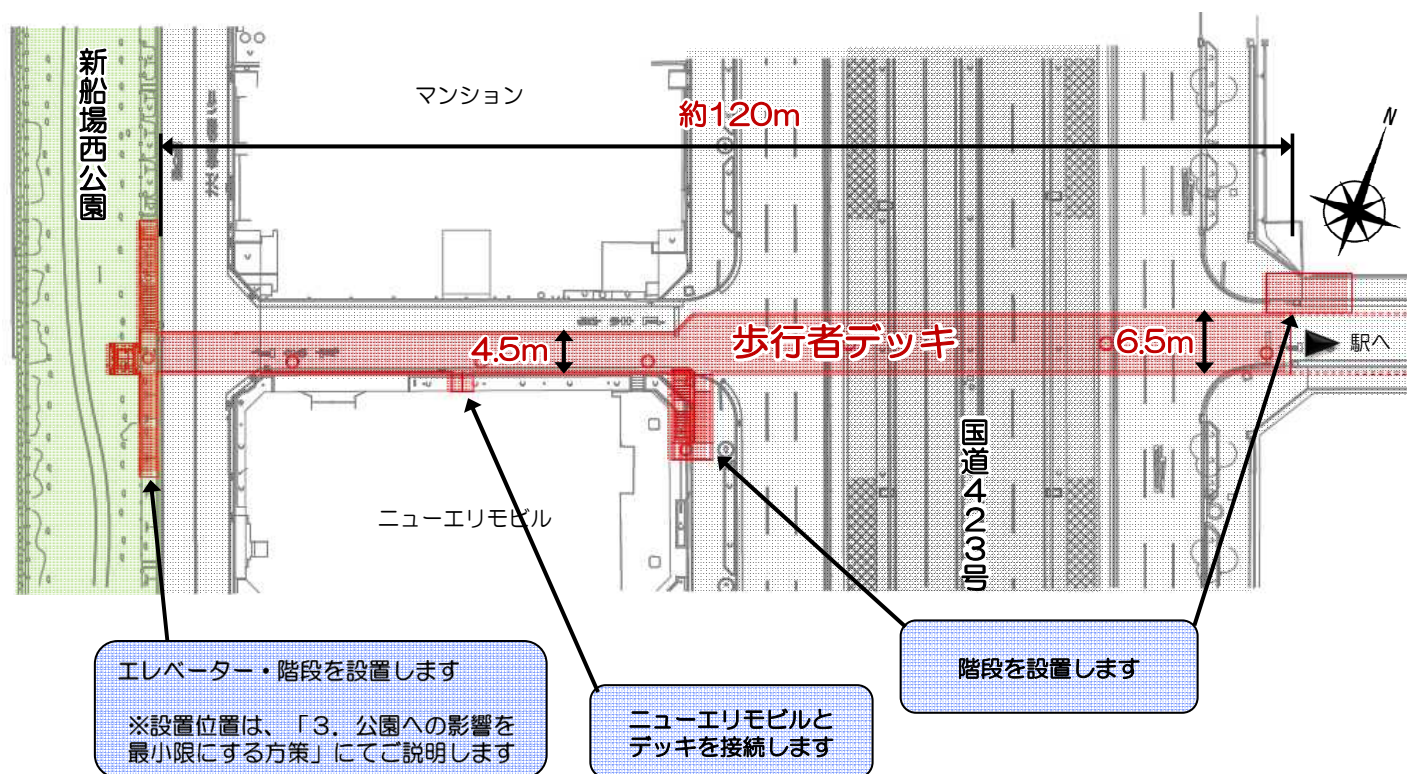
2. 歩行者デッキ整備計画

歩行者デッキ全体計画図

新駅の南側出入口から国道423号の西側にある新船場西公園までを繋ぐ全長約120mの歩行者デッキとなります。

歩行者デッキの幅は国道423号部分で6.5m、国道から新船場西公園までは4.5mとなります。

▼計画平面図

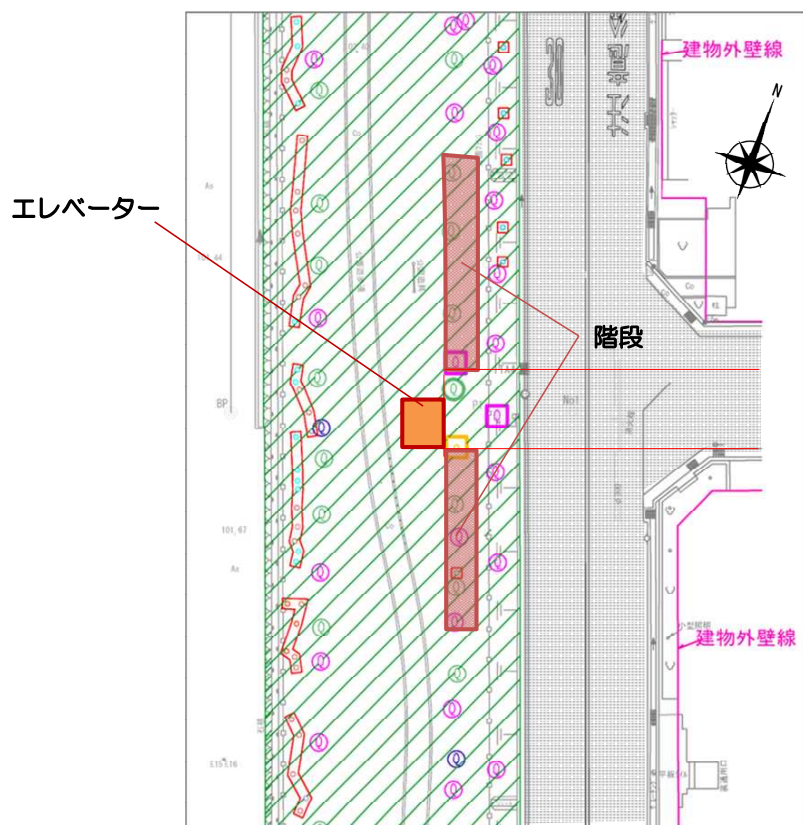


3. 公園への影響を最小限にする方策

植栽への影響を最小限に抑える方策の検討

公園の中に階段を設置する案を検討した場合は、図のとおりになります

「公園の中に階段を設置する」場合の通常の計画



植栽への影響を最小限に抑える方策の検討

公園の中に階段を設置する案を検討した場合は、図のとおりになります

「公園の中に階段を設置する」場合の通常の計画



公園の植栽に与える影響

- 中木 7本
- 細い木 5本

植栽への影響を最小限に抑える方策の検討

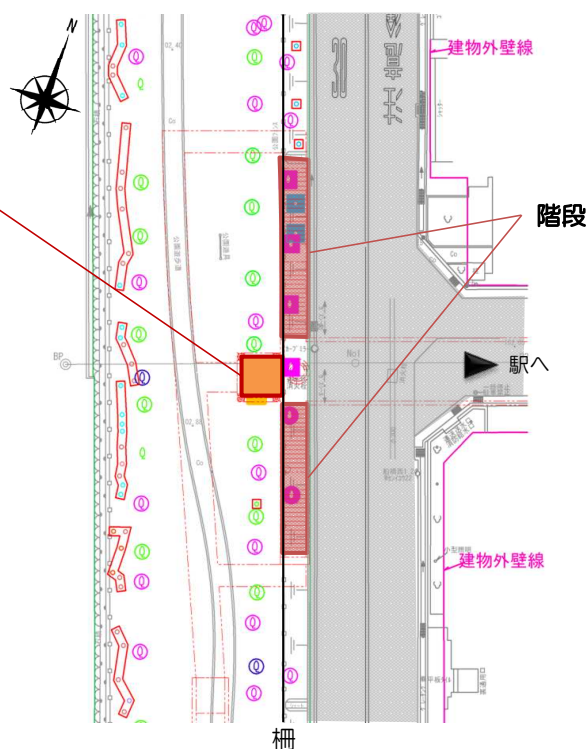
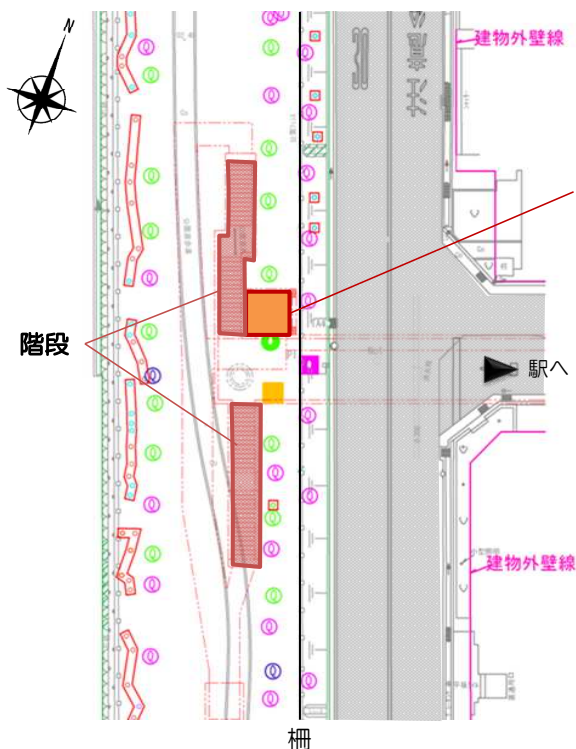
これまでに、植栽への影響を極力少なくする方策として、以下の2案を検討してまいりました。

案1 「内階段」案

階段を公園の中に配置する案です。

案2 「外階段」案

階段を公園の外（柵の外の道路側）に配置する案です。



公園への影響「植栽への影響」

2つの案それぞれが植栽に与える影響は次のとおりです。

「内階段」案は本数が少ないですが公園内の中木に影響します。

「外階段」案は影響を受ける本数は多いですが、すべて公園の外（柵の外側）の細い木です。

案1 「内階段」案

公園の中
・中木 1本
・細い木 2本
公園の外
・細い木 1本

案2 「外階段」案

公園の中 （影響はありません）
公園の外
・細い木 8本

